



今月は、徳島本部から異動になった職員、ピアノと唄の会の川内麻紀さんの紹介を行います！

① 子供の頃の夢は？
 ② 趣味・特技は？
 ③ なぜこの仕事を選んだか？ 3つの質問に答えていきます

今年もあつという間に年の瀬ですね。何かと忙しいですが、楽しみながら元氣にお正月を迎えたいものです。

2018年もどうぞ宜しくお願い致します。



① 保育士です。子どもが好きなのでなりたかったのですが、ピアノが弾けないという現実が断念しました。楽器を弾くというセンスが今も昔もありません。

② バスケボールを小学校6年生から今までずっと好きでしています。色々な方と交流しているのでそれも一つの他の楽しみです。普段はアウトドア派ですが、たまに熱中すると一日中ゲームや映画を観たりと、ひきこもり要素もあります。笑。

③ どんなに忙しいときでも、忙しいときこそいつもと変わらず笑顔で接することのできる介護士でありたいと思っています。利用者様は人生の大先輩なので尊敬を忘れず、温かい心のこもった介護にあたることを心掛けています。



① 子どもの頃はホテルのフロント係かCAになりました。英語が話せないしムリか。

② 色々なマラソン大会に出るのが好きです。エイドで食べることが一番の楽しみか？ 笑。そば、米汁、素麺、たこ焼き、稲荷寿司、細巻、果物や漬物；他、ゴールする頃にはお腹いっぱい。笑。2月と3月には徳島でフルマラソンに参加します。いつかは東京マラソンも走ってみたい。

③ 私は福祉の仕事に就いて二十年が経ちます。まず利用者様のことを知り、自分を客観的に振り返ることを意識しています。現在の利用者様像と併せ、長年の習慣や生活歴も理解するよう努めます。長い間かかわっていると、利用者様の癖や性格が見えてきます。言葉だけでなく、小さなサインや表情、仕草をサーブにつなげられると、利用者様も喜んで下さり、自分の喜びややり甲斐にもつながります。

介護は、利用者様の変化を一番身近できめ細かく支援できる魅力的な仕事です。一緒に喜び、落ち込んでいたら励まし、面と向かって心から「有難う」を貰える。暮らしや命に向かい合い、深くかわるやり甲斐は、他の仕事ではなかなか得られないと思います。

徳島から異動して3カ月、これからも利用者様が安心して楽しく生活できるように努めて参りたいと思います。



① 色々ありました。漫画家、動物園の飼育員、薬局のお姉さん、音楽プロデューサー…。でもピアノニストになりたいと思ったことはありませんでした(笑)

今見返してみると、自分が前に出ていくより、誰かのために何かをしたいと思っていたのかもかもしれません。

② そもそも休みの日がなかなか無いのですが、一日休みとなればとにかく出かけます。夏は特に海へ。祖父の写真好きを受け継いでか？必ずカメラを持って出かけます。ただ、演奏会前となると引きこもって練習をしています(涙)

③ 学生時代はクラシックばかり勉強していたので、実は昔は童謡や特に歌謡曲を弾く事に凄く抵抗がありました。でも、「一人の心を動かす音楽は人それぞれ違う」と分かってからはジャンルの垣根を越えて、今では何でも演奏します。

その人の日々の生活が少しでも豊かな物になる様に、楽しみが一つでも増える様に、その一瞬だけでも心が躍る時間になる様に、出来るだけお手伝いしたいと思っています。

晴雲秋月

H29.12月号

◆発行日◆ H29.12.20
 ◆編集・発行◆ 社会福祉法人さくらが丘会 特別養護老人ホーム 秋月 広報・イベント委員会
 ◆住所◆ 177-0045 東京都練馬区 石神井台6-1-11
 ◆電話番号◆ 03-5935-8928

「晴雲秋月」とは…心に汚れがなく澄み透けている例え。「晴雲」は晴れた空に浮かぶ白雲、「秋月」は秋の澄んだ空にかかる雲の意。

職員 忘年会 2017!



ピンゴで 盛り上がり楽しめた!!!

秋月祭♪ なんとこれもぼんぼり連の阿波踊り！
 喫茶、屋台、職員の寸劇のり…その他、盛り沢山でした

十一月二十六日(日)、今年も秋月祭が盛大に行われました！
 ぼんぼり連の皆様による阿波踊りの全館公演を目玉に、1階ではヨーヨー等の屋台、2階は駄菓子バイキングや記念撮影。3階ではたこ焼きや紐くじ等の屋台。4・5階では職員による寸劇『桃太郎』や本格的なケーキバイキング等々、各フロアごとに企画した催しで行いました。

なかでも、去年に続き二度目となる阿波踊りは、艶やかな衣装は勿論、来年の秋月祭もご期待下さい！

ショッピングモール、カフェ… お出掛け日和を満喫!

前半は雨がが多く、後半は冷え込みの厳しい秋となりましたが、晴れ間を狙って外出レクも盛んに行われていました。

ちよつと遠くのショッピングモールまでドライブしたり、ご近所のカフェ足を延ばしたり…紅葉や銀杏がきれいなこの時期なので、当日急遽お出掛け先を変更した、なんてユニットもあつたようです。また行きましようね！

初★フェイシャルエステ 美魔女に変身!?

十月、日本理美容福祉協会の協力により、一部の入居者の皆様を対象にフェイシャルエステを試験的に行いました。「エステなんて初めて!」と若干戸惑われながらも、セラピストの方とゆったりと会話を楽しみながら、フェイスパックやマツサージ、男性の方にはお顔剃りも。身も心も美しくなり、またさっぱりとされたせいか、いつも以上に皆様の笑顔が輝いていました。



介護課長から

今月に入り、政府が「人づくり革命」の推進に向けた二兆円規模の政策パッケージの原案を提示したというニュースがありました。

そこには幼児教育の無償化や保育士、介護職員の処遇改善が明記され、保育士は平成三十一年四月から、月額三千円程度の賃上げを実施すること。また、勤続十年以上の介護福祉士は、月額八万円相当の「処遇改善」を行うと明示したようです。

私自身、介護の仕事以外の経験がないのですが、今日までの間、介護の仕事は楽しいことが多くありました。そのため、介護の仕事が3Kと呼ばれる仕事の一つとなったり、少子化の影響で働く人材が少ない現状を寂しく感じています。

少し自分自身のことを話させていただくと、人生の選択に

迫られたのが高校三年生の夏。今でもその時の記憶が鮮明に残っています。同級生は大学進学を目指していたり、保育士になるために専門学校に通うと決めていた人もいました。中には社会人として採用試験を受けると決めていた人も……。はつきりと人生の選択が出来ていなかった自分。大学進学も選択の一つとして有名予備校のゼミで勉強もしましたが、周りの人との温度差にあっさりと敗戦。

そんな自分自身の道を決めかね、何が出来るかを考えて選んだのが介護の仕事でした。当時、同世代で介護の仕事をするという男性は少なかったと記憶しています。当時、父方、母方とも祖父母は健在で元気に生活をしていましたが、いつか家族の一人として介護の技術や知識を持つことで、何かの役に立てるのではという理由で福祉系専門学校を受験。そして、学び介護施設で社会人として仕事をスタートさせました。

今から二十数年以上の前の話です。当時の老人ホームの職場はほとんどが女性で男性職員は

極わずか。仕事内容は今と変わりませんが、秋月のようなユニット型の施設はなく、ユニットケアという考えも生まれてきたばかり。勿論社会的にも介護の仕事にスポットライトはあたっていませんでした。しかし、社会情勢が変わり、バブル崩壊、リストラ、リストラ後の転職先が人手不足の福祉業界、そして、平成十二年の介護保険制度スタートにより少しずつ社会の目が介護に向けられるようになりました。様々な要因もあって、自分の勤める施設にも男性職員が増え、自分自身も男性職員がいることに安心したこともありました。

一方、今もそうですが入所されている高齢者は女性の割合が高かったものの、百歳を迎える方は稀でした。しかし、今では平均寿命も延び、多くの高齢者が百歳を迎えるようになりました。秋月でも百歳以上の方が七名、九十歳以上は七十名を超えます。平成二十八年十月一日現在、我が国の六十五歳以上の高齢者人口は、三千四百五十九万人となり、総人口に占める割合（高齢化率）も27.3%です。

「介護の仕事は好きですか？」
「どんな気持ちで仕事をしていますか？」
「どんなきっかけで介護の仕事をはじめた時を思い出して、今後も入居者の皆さんの笑顔を引き出していきましよう。」

高齢者が増える一方、先に述べた少子化ということもあり、介護を生涯の仕事として考える人は多くないのが現状です。介護の仕事を目指した時の思いを大切に、この仕事に素晴らしい仕事だとアピールしていくことが私たちの役目なのかもしれません。

今回の「人づくり改革」による介護職員の処遇改善は介護施設で働く職員の一人としてありがたい話ですが、お金に変えられないものも多く得ることができない仕事だと感じています。

介護の仕事をしている皆さん、「どんなきっかけで介護の仕事をはじめたか？」

「どんな気持ちで仕事をしていますか？」

改めて、介護の仕事をはじめた時を思い出して、今後も入居者の皆さんの笑顔を引き出していきましよう。

十一月十一日は『介護の日』

来年の四月末に予定された天皇陛下の退位と皇太子さまの即位で、ゴールデンウィークに新たな祝日が制定されるのではないかと話題になっています。新しい元号は何になるのか、発表が楽しみです。

さて、祝日ではありませんが、十一月十一日が何の日か皆さんはご存知でしょうか？「いい日、いい日、毎日あったか介護 ありがとう」の語呂合わせから、厚生労働省が『介護の日』として定め、またその後二週間は『福祉人材確保重点実施期間』としています。十一月に各自治体等から介護についての啓発活動が盛んに行われるのは、そのためなんです。渋谷ヒカリエで行われたTOKYO SOCIAL FEELSでは、「現役介護福祉士兼モデル」という方のトークショーがあったり、2016年に

グッドデザイン賞を受賞した足こぎ車椅子「COGY」の試乗、バススポーツへの参加、バーチャルリアリティでの認知症体験等、多彩な取り組みが数多く展開されていました。

2025年にはいわゆる「団塊の世代」が75歳以上になり、介護職員は253万人必要になるとされています。身内の介護に直面する方も増えていくでしょうし、個々の介護ニーズも益々多様化していくことでしょう。先日新たな介護報酬改定も発表されましたが、「あったか介護」の実現のために、専門性を持った介護職員の確保も大きな課題です。

『介護の日』をきっかけに、業界全体・地域全体の意識が高まり、多くの方が介護に理解や関心を示す社会になるといいですね！

ご面会の皆様へお願い

例年、この時期にお歳暮やお年賀等時節のお心遣いを賜ることがございます。しかし、当施設では、贈答・接待などはお断りさせていただきますので、ご理解いただきますようお願い申し上げます。



ボランティアの皆様のご紹介



十一月十二月に秋月にいらして下さったボランティアさんです。

秋月では、趣味・特技を披露して下さったり、車椅子の清掃や洗い物・お散歩のお手伝い等に「ご協力いただけるボランティアさん」を募集しております。詳細は施設長 井上・介護課長 藤井まで！

